



シールド本掘進 正門通に到達 進路を北へ 1526mのうち、940m掘削完了

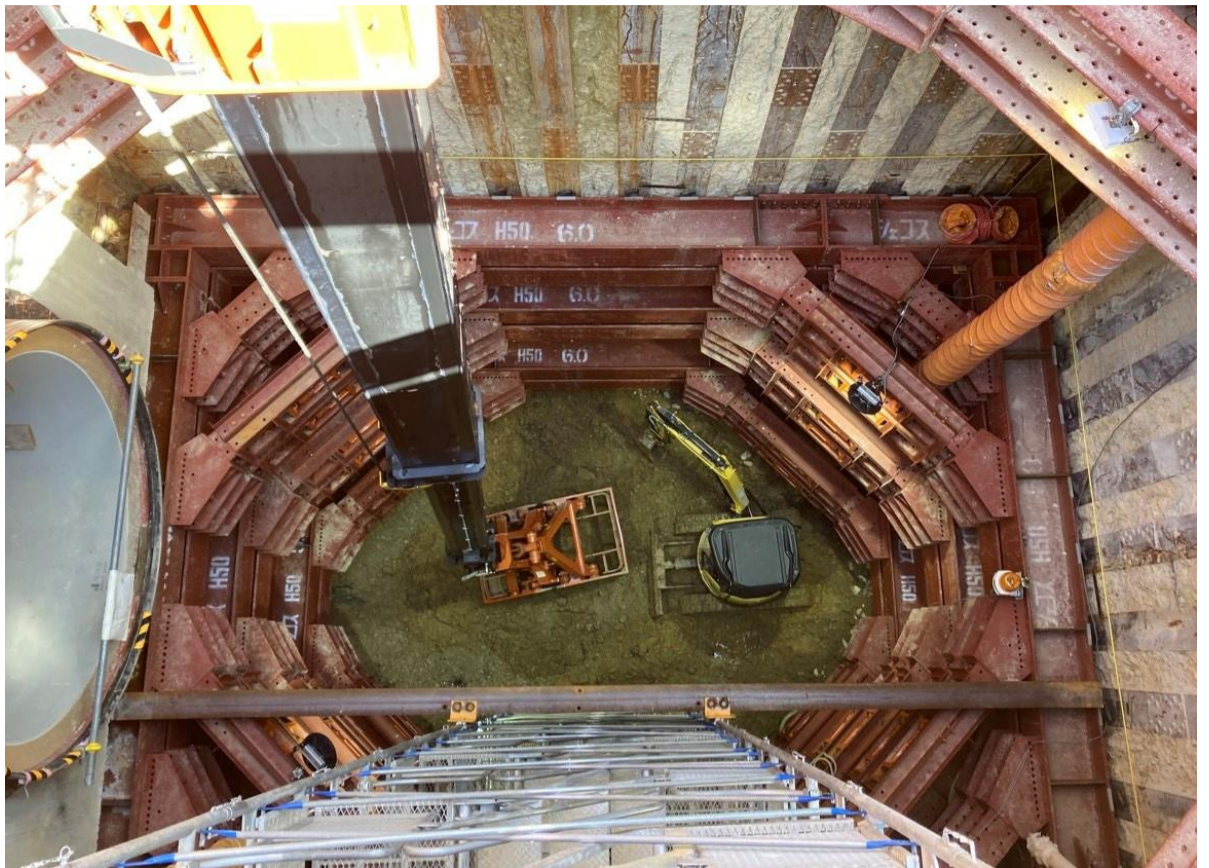


φ3500mmシールドは順調に掘進を続けており、現在は**正門通の交差点**を通過中です。これから路線を東向きから北向きに変えるために、R=60mの急曲線の施工を行っています。直線と違って少しずつカーブを曲がらなければならぬため、幅の狭いコンクリート中詰鋼製セグメントを使っています。セグメントはボルトで接続するため、ボルトを締めるための穴が開いています。この穴は最後にモルタル(セメントと砂を混ぜたもの)で埋めて平らに仕上げます。

この写真はトンネル先端の後続台車の部分です。トンネルがカーブしているのが分かると思います。

φ1350 推進工 推進機搬入完了 4月10日より掘削を開始

No.5立坑より西に向かって掘削するφ1350 推進機が現場に搬入されました。今回の工事の中では一番小さな大きさのトンネルですが、それでも約7tの重量があります。これから準備を進めて、4月10日から掘削を開始する予定です。



カメレオンクラムによる掘削作業中のNo.3発進到達立坑
左に見えるのは先日完了したφ2400 推進の坑口 これからシールドが到達する地下22mまで掘削します



φ1350 推進機 シールド同様しるまるひめをイメージしたカラーリングです

今月のメインピック

No.3 立坑 掘削作業を再開

～深さ22mまで掘削～

φ2400 推進が完了したNo.3立坑は、3月14日から掘削を再開しました。これからやってくるシールドを迎え入れるために、地下22mまで掘削します。

掘削は、SMWと呼ばれるセメントと土を混ぜて鋼材で補強した壁の中を、土の圧力に対抗するための鉄鋼を組立てながら掘っていきます。地下22mは、9階建てのビルがすっぽり収まる深さです。これだけの深さを掘るには特殊な機械が必要です。

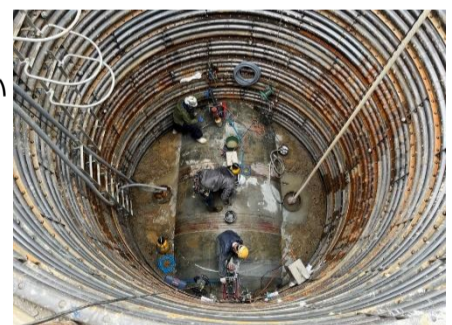


今回現場で活躍しているのはその名も「カメレオンクラム」。ブームがカメレオンの舌のようにピョンと伸びて、深いところの土をつかみ上げることができます。最大で25mまで掘削することができます。

約2m掘るごとに鉄骨(山留支保工)を設置し、土の圧力によって壁が変形しないよう支えて、また掘るのを繰り返していきます。立坑の下に降りるのは階段を使っています。段々と深くなっていくので昇り降りも一苦労です。

No.4 立坑掘削中

～φ2400 推進管が出現～



No.4立坑でも掘削作業が進んでいます。ここではライナープレートと呼ばれる円形の鉄板を組立てて土砂が崩れてくるのを防ぎながら掘削を進めています。ここでは先に完成したφ2400 推進のトンネルの真上から掘削して、接続する作業を行っています。横から掘ったトンネルを、今度は上から掘り起こしています。



お知らせ

夢前中学校前の道路の通行止めについて
夢前中学校前の市道ではφ1350 推進のための準備工事を、3月初旬から行っています。4月11日からは24時間通行止めとなります。近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、引続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

-お問合せ先-

- 事業主体：姫路市下水道局
TEL：079-221-2661
- 発注者：日本下水道事業団
TEL：078-752-2129
- 施工者：清水・森長・宇鷹 JV
TEL：079-230-0877